

「終活」リスクを最小限に 葬儀の不安解消から空き家売却まで

人生の最期に向けて準備する「終活」。親を見送るとき、自分のとき。そして相続手続き、遺品整理、不動産売却、遺品の買取など、元気なうちに「遺族が困らないようにしておく」ことが「終活」の基本。遺産を巡って兄弟げんかするのは、よく耳にする話。せめて、綺麗に終わりを迎えるために準備をすることは、安心して長生きする秘訣でもある。



これからの人生のこと
気軽に相談できる人は
身近にいますか？



ある地元葬祭業者によると、「葬儀を経験した人が後悔したこと」として最も多いのが、「情報収集」だった。葬儀が終わってみると、喪主が感じたのは「あらゆる面での情報収集不足」が第1位だったというのだ。もともと、「その時」は突然やってくる人が多いので、「何とかなるだろう」と考えている方が圧倒的。家族から本人に促すのはなかなか言いにくいのが現実なので、や

※セットには以下のサービスが含まれます

葬儀	式場設備
葬儀下駄箱	外葬り
電機式忌中灯	矢印付案内板
受付所設置	焼香用具
霊柩車 花祭・洋型のみずか	枕掛け
納棺用具一式	白木位牌
ご遺体保冷剤 2部付	収骨用具
死亡届けの手続き	火葬場でのお世話
葬儀費精算 (記帳簿一式)	祭壇用供物
火葬用生花・供物	法要案内状・席札
司会進行	会葬礼状 100枚まで
オリジナル礼状制作費	

清月記のホームページから

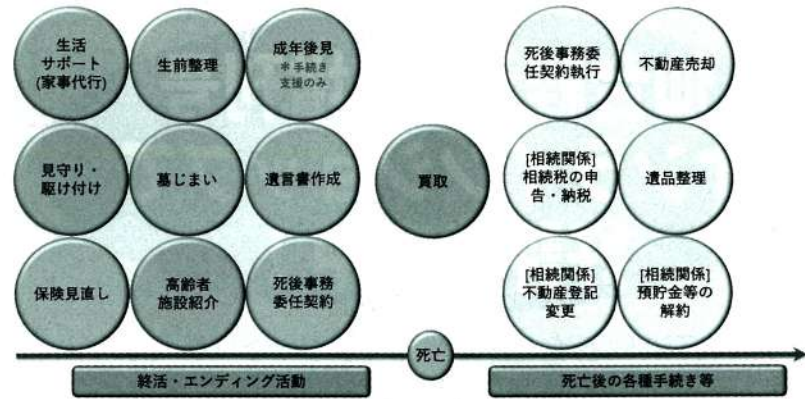
のグレード(セット価格)を選択すればよい。明瞭で分かりやすい。会館葬も同様に選択出来る。同社の角地了取締役統括本部長は「ご葬儀について不安を解消するためまず相談してほしい」と語る。

技法「エンババーミング」が、仙台に上陸、広がりをみせているのも最近の大きな話題の一つ。エンババーミングは遺体に防腐、殺菌消毒処理を施して感染症などを防ぐ、長期間、遺体を衛生的に保存する技術。遺族の意向に沿い、事故などによる遺体の損傷や長い闘病による顔や身体や

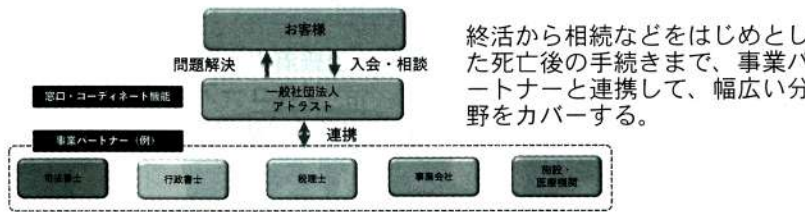
つれなどを一定程度整え、顔色を生前に近い姿に戻し、化粧などを行う。エンババーミングが国内で注目を集めたのが、1995年の阪神・淡路大

震災のときから。外国人エンババーマーにより修復・保存された遺体の姿は、遺族の悲嘆を和らげるグリーンフケアにもつながった。

ピスはそれだけではなく、「遺言書作成」、希望や条件に合った理想的な施設を紹介する「高齢者施設紹介」、炊事・掃除から買い物代行、通院の付き添いまで日常生活の困り事をサポートする「生活サポート」のほか、「終活サポート」のほかに、



一般社団法人アトラストのサービスラインアップとサービス体制



終活から相続などをはじめとした死亡後の手続きまで、事業パートナーと連携して、幅広い分野をカバーする。

具体的なには、不動産の登記変更、預貯金口座の解約、相続税の申告・納税の「相続手続き」。故人が生前に使用していた遺品の整理からハウスク

「アトラスト」の総合サービス。具体的には、不動産の登記変更、預貯金口座の解約、相続税の申告・納税の「相続手続き」。故人が生前に使用していた遺品の整理からハウスク

「アトラスト」の会員制の組織で、初回相談から見積り作成までは無料だが、提携先に依頼する際は、入会金10000円の入会が必要だ。年会費は無料。アトラストのサ